

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山県、岡山県小田郡矢掛町	地域再生計画名	矢掛・井原の人が行き交う元気な地域づくり計画
計画期間	平成30年度～令和6年度	評価責任者	矢掛町 建設課長、岡山県井笠地域事務所 地域農林水産事業部長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績		基準年度	最終実績						
	目標 1	矢掛町及び井原市の主要観光施設の年間観光入込客数の増加	751千人	H28	803千人	R3	459千人	826千人	R6	848千人	○	指標 総数			達成 数
	目標 2	矢掛町主要施設における井原市民利用者数の増加	149人	H28	156人	R3	80人	163人	R6	68人	×	3			2
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標 1														
	指標 2														
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価									
			計画	中間年度 (R3)	最終実績										
特別措置を適用して行う 事業	町道 運動公園線	0. 25km	0. 00km	0. 25km	令和6年度事業を令和7年度へ繰り越し、同年度末をもって改良事業を完了した。令和8年度中に舗装工事を完了し、供用開始する予定であり、矢掛町中心部と東部を結ぶ道路ネットワークの構築による事業効果の発現が見込まれる。										
	町道 辻堂線	0. 15km	0. 00km	0. 00km	町道辻堂線の仁井屋橋については、橋梁の詳細設計における関係機関との協議に不測の日数を要したことや希少生物の保護移動等の対応が必要となったことから、当初計画より工程に遅れが生じ、計画期間内での事業完了には至らなかった。しかしながら、本路線は周辺住民の生活道路として、また地域間交流の観点からも重要な路線であり、早急な交通開放及び現道拡幅が求められていることから、次期計画において継続路線として位置づけ、早期の整備完了を図る必要がある。										
	広域農道 井原芳井地区	2. 11km	0. 00km	0. 00km	計画期間内での完了を目指したが、令和2年度に発生した大規模地すべりへの対策を優先するとともに、計画断面の変更を行う必要が生じ、この区間の道路工事の再開が令和6年度まで遅延したため、計画期間内での事業完了には至らなかった。一方、地域では新規就農者が順調に増加し、農産物の円滑な輸送体制の構築は喫緊の課題となっており、未完成のままで将来的に営農へ支障をきたすおそれがあることから、地域住民からの早期完成への期待も踏まえ、次期計画において本事業を継続路線として位置づけ、早期の整備完了を図る必要がある。										
その他の事業															
計画外で独自に実施した 事業	道の駅山陽道やかけ宿整備事業	道の駅から中心市街地への導線となる町道及び地域振興施設の整備	令和2年度に道の駅「山陽道やかけ宿」が開業した。来場者数は、開業後4か月の令和3年7月に10万人、令和3年度中に24万人を達成するなど、多くの来訪者を集めている。道の駅は新たな観光施設であると同時に、矢掛商店街への玄関口としての役割を担っており、中心市街地に賑わいをもたらしている。さらに、令和2年度には町道本陣通り線の無電柱化も完了し、矢掛商店街の歴史的景観の向上が図られた。												
	広域観光連携事業	広域的な観光ツアーの開発、観光PR、観光パンフレットの作成	井笠広域観光協会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、テイクアウトに取り組み飲食店のPRを目的として「井笠地域テイクアウトGuide Book」を発行している。また、スタンプラリーやフォトコンテストなど、観光客に井笠地域を広く訪れてもらうためのイベントを企画・実施している。												
	農業体験施設「水車の里フルーツピア」指定管理委託事業	新商品開発、収穫体験等、町外からの利用者を増やす取り組みを行う	水車の里フルーツピアは、平成25年4月から株式会社エンジョイファームによる指定管理を行っている。新商品の開発や果物・野菜の収穫体験の実施等、農業振興の拠点としての役割に加え、バーベキュー施設やカフェ施設、アスレチック設備の整備、定期的なイベントの開催等により、若年層やファミリー層、町外からの利用者の増加につながっており、集客力のある施設となっている。												
	矢掛町総合運動公園指定管理委託事業	各種スポーツ教室やイベントを企画し、町内外から多くの利用者を迎える	矢掛町総合運動公園は、平成28年4月から特定非営利活動法人やかけスポーツクラブによる指定管理を実施している。充実した設備を有し、幅広い年齢層が利用しやすい施設であることから、町内外から多くの利用者を集めている。												
	農業生産基盤と農村生活環境の整備	農山漁村地域整備交付金、中山間地域総合整備事業などを活用し、整備を行う	農山漁村地域整備交付金を活用し、中山間地域総合整備事業井原地区及び矢掛地区において、ほ場整備や畑かん施設の補修整備等を実施した。												
	新規就農者支援事業	移住支援、就農支援	ぶどう栽培の担い手となる農業実務研修生を毎年受け入れ、新規就農に向けた支援を行っている。 また、矢掛町では、住宅団地の分譲、定住促進助成金、空き家改修補助金、町営賃貸住宅等による移住支援や、相談窓口等による就農支援を継続的に行之い、新規就農者の確保・育成に取組んでいる。												
④評価方法	事業主体及び第三者により、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。														
⑤事後評価の公表方法	岡山県及び矢掛町のホームページに掲載														
⑥計画全体の総合評価	3路線のうち2路線は現計画期間内に事業完了に至らなかったため、計画で目標としていた事業効果の発現は十分ではない。一方で、1路線の完成を迎えることにより、事業実施前に比べ道路ネットワークの一部が構築され、一定の効果は発現される。 また、道の駅「山陽道やかけ宿」の開業や新規就農者支援などの関連事業が一体的に進められており、観光交流、地域間交流、担い手確保の面で計画の方向性に沿った取組は進展している。 今後も、未完成の2路線は地域再生計画の目標達成に必要な路線であることから、次期計画において継続して整備を進める必要がある。														
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、道整備交付金を活用して町道と広域農道を一体的に整備することにより、矢掛町と井原市の道路ネットワークを再編し、主要観光施設への集客や農産物の物流機能の強化、さらに地域間交流の促進や6次産業化による雇用創出・所得向上を図ることを目的としている。 これまで、道の駅「山陽道やかけ宿」の開業や各種関連事業の取組により、観光交流や地域間交流に一定の効果が見られる一方、3路線のうち2路線は計画期間内に完了しておらず、当初目標の達成には至っていない。 このため、未完成の2路線については、引き続き地域再生に必要な路線として位置付け、次期計画において整備を継続する。併せて、観光入込客数や新規就農者の増加といった地域の動向を踏まえ、地域の実情や要望に即した道路ネットワークの構築に向けた取組を進めて行く。														